



# さいと

# 市議会だより

第112号

令和5年5月1日発行

## 台湾 羅東鎮長来たる！

## 児湯広域森林組合新事務所 完成予想図



呉鎮長は終始笑顔をたたえていました。



意見交換では  
羅東鎮での記念式  
典の参加、文化芸  
術交流によるアピ  
ール、スポーツ交流や  
農畜産物等の輸出  
入について話し合  
われました。

呉鎮長は姉妹都市交流が更に盛ん  
になることを願っていました。市議会  
としても、姉妹都市を大切にします。  
(※鎮長は日本で言えば市長の事です。)



3月1日 三納の森林組合所有地で  
11月完成予定の事務所の起工式(地鎮祭)  
が執り行われました。

### ●3月定例会の概要●

令和5年第1回定例会は2月28日に招集。3月17日までの会期で市長提出議案64件、議員提出議案2件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決(うち1件は承認、17件は同意)としました。議員提出議案は1件を原案可決、1件を原案否決としました。

### 主な掲載内容

- ◎一般質問・・・P2~5
- ◎委員会審査概要・・・P5
- ◎議案審議結果・・・P6
- ◎委員会活動等・・・P7~8

西都市議会  
ホームページ

ホームページ  
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ

ダウンロードは  
はこちらから↓



さいと市議会だよりを  
アプリで配信中!

理事長辞職に対する市長の責任と今後の運営責任について

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



**問①** 医療センターの濱砂理事長から「辞職願」が提出された。その理由について理事長は「センターと行政の信頼、連携は不可欠だが市長との関係修復は不可能」、また、「地裁が認めなかった主張を反省せずに市長は自分の思うまま控訴した。理事長として市長と二人三脚でセンターを運営しなければならぬが信頼関係が失われ不可能と述べた」と報道されている。理事長が「辞職願」提出に至った経緯を考えると、橋田市長には「受理した。お疲れ様でした」だけでは済まされない重大な行政責任が問われているのではないか。

**答** 解任処分取消訴訟において、その主張が認められなかった判決には承服できないことから控訴した。しかしながら濱砂理事長の在任期間における新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、医療センターの運営にご尽力いただいたことには大変感謝している。

**問②** 新理事長選任を含め医師確保など、今後の医療センターの医療

体制をどう整えられるのか。

**答** 新理事長選任は、医療及び地方独立行政法人の運営に精通し、状況を改善するため、院内及び市とのコミュニケーションが出来る方を選任したい。医師確保については、早期に新体制を整えた上で対応することになる。最大限協力していく考えである。

**問③** 物価高騰から市民の暮らしと地域経済を守る対策について。

**答** 長引く物価高騰による影響は非常に大きく、商工業者や農林業者等、困難な状況にあると認識している。国・県の補助金等を積極的に活用し地域経済を守るための支援策を検討したい。

**問④** 子どもの医療費や保育料の完全無料化、学校給食無償化等を決断し、子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めることについて。

**答** 提案の子育て支援対策は、子育て世帯の経済的負担を軽減することができ、子どもを産み、育てやすい環境づくりを進める上で有効な手段であると認識している。令和5年度予算に、第二子以降の保育料無償化や学校給食費に係る食材高騰分の助成を子育て支援策に盛り込んだ。今後も補助事業の活用に取り組みたい。

带状疱疹予防接種、出産・子育てについて

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



**問①** 带状疱疹予防接種について

**イ** 県医師会が県に対し、市町村が带状疱疹ワクチン接種費用をできるような助成等に対する要望がなされているのか伺う。

**答** 本年2月24日、宮崎県医師会、西都・児湯医師会会長連名で、市長に対し「带状疱疹ワクチン予防接種への助成に関する要望書」が提出されている。

**ロ** 本市でも、できるだけ早く助成を行って頂きたい、今後どのような対応をされるか伺う。

**答** 带状疱疹ワクチン予防接種の助成に関し、県他市町村の動向、特に先に助成開始された、木城町における接種者数の変動等を確認しながら、前向きに検討する。

**問②** 骨髄移植ドナー登録について、令和5年度の主要事業等説明資料に新規事業と挙げられている。骨髄等移植推進支援事業助成金はどのようなものか伺う。

**答** 令和5年度の新規事業予定する

骨髄等移植推進支援助成金については、ドナー負担軽減及びその職場の理解促進することで、ドナー登録者の拡大、骨髄等の提供をしやすい環境整備するもの。市のホームページ、SNS等、市内事業所等を対象にした周知も行う。

**問③** 不妊治療助成について

**イ** 出産・子育ての不妊治療に対する助成について本市の現状を伺う。

**答** 不妊治療に対する助成等について、人工授精による一般不妊症及び体外受精・顕微鏡受精による特定不妊治療の助成金交付を行っていたが、令和4年4月に不妊治療の医療保険適用開始され、特定不妊治療の特定不妊治療の経過措置分を残し廃止した。

**ロ** できる限り個人負担を軽減する事により、不妊治療に挑戦しようとする方も増えるのではないかと考える。今後どのように対応されるのか伺う。

**答** 不妊治療の助成に関して、今後市民の方の問い合わせや要望、他市町村の申請状況等を確認しながら、前向きに検討してまいります。

**問④** 市民の為の庁舎でもあるのに苦情が多い事をどのように思われるか伺う。

**答** 電気料金の高騰が続き、可能な限り節電を実施し、適切な財政管理に努める。

令和5年度施政方針について

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



**問①** GX(グリーン・トランスフォーメーション)で自治体に求められる取り組みについて伺う。

**答** 知見向上のためのセミナーや勉強会の開催、助成制度の創設、脱炭素に対応する経営支援である。

**問②** 西都独自のブランディングはどのような形で行うのか伺う。

**答** 西都市の認知度向上のためブランド化は必要であり、まず食の分野でブランド化を図っていききたい。

**問③** 里山再生が図れる新しい畜産とはどのようなものか伺う。

**答** 放牧事業推進であり、永年牧草を作付けすることにより、経費や労力の低減が図れ、家畜の健康増進と疾病の低減につながる。また耕作放棄地の解消、有害鳥獣の侵入防止にもつながると考える。

**問④** 放牧によるアニマルウェルフェアは西都の持つ財産を活かす施策だと考えるが、見解を伺う。

**答** 本市には広大な森林や田畑が存在する。それらを放牧で活用することは里山再生やアニマルウェルフェアにつながり、またブランド化まで図ることでも多様化した嗜好に対応した

取り組みとなり、意義のある施策と考える。

**問⑤** 杉安川仲島公園の開発時からの誘客数の推移と評価を伺う。

**答** 流水プールの設置年度時は6万3000人で、平成30年あたりの平均は2万4423人である。プールや野球場、芝生公園を含めた総誘客数は103万8177人と推計される。市内外を含め相当の魅力や価値があったと考える。

**問⑥** 利活用計画について伺う。

**答** キャンプや家族でバーベキューが楽しめる場所等、杉安穂北東米良などへの効果も考え検討する。

**問⑦** 西都商跡地の利活用を伺う。

**答** 宿泊施設等の創業を目指し、基本計画を策定し、社内にチームを立ち上げ取り組んでいる。市としても積極的に支援していきたい。

**問⑧** 西都児湯医療センター新病院の取組みと課題について伺う。

**答** 施設整備構想、基本計画案を基に再検討している。課題は県が第8次宮崎県医療計画、地域医療構想を来年度策定するので、基本計画の見直しが必要になる事、及び経営安定が必要となる。

**問⑨** 中学再編の進捗状況を伺う。

**答** 制服(シエンダーフリー)、体操着、靴、靴は選定された。校章は選定作業中、校則PTA規約は検討中、通学路の自転車レーンは関係者と協議中である。

農業振興と河川樋門について

令和の会 井上 司



動画はこちらから↓



**問①** 認定の農業者制度について、小規模農業経営者は認定されないのか伺いたい。

**答** 認定農業者制度は5年後の経営規模や所得目標、労働時間等基本構想を概ね達成できる計画を立てられる制度、達成が困難と判断された場合、認定できないことがある。

**問②** 農家の高齢化が進む中で今後の農業について、どのようにお考えか。

**答** 高齢化による農家の減少は地域の弱体にも繋がる問題であると大変危惧している。本市農業を維持していくためには、親元就農者を含む新規就農者の確保・集落営農の組織化や個人経営体の大規模化、法人化の推進など積極的に進め、担い手を確保しなければならぬと考える。

**問③** 農業機械購入に対し、認定農業者になっていない小規模経営者には、助成制度はないと聞いているが、どんな制度があるのか伺いたい。

**答** 助成制度はないが共同購入であれば二経営体以上の認定農業者と

構成した場合、新農業戦略事業で助成できる。

**問④** 樋門に水の危険量を超えた場合、自動的に開け閉めできる装置は設置できないか伺う。

**答** 宮崎県から64か所の樋門を委託しているが、消防団による現場での開閉作業となっている。西都土木事務所所長宛に桜川樋門及び堀之内川樋門の遠隔による安全的確に樋門操作ができる設備の設置又はオートゲートの設置及び監視カメラの設置を内容とする要望書を提出。その他の樋門についても操作の安全性向上継続して要望してまいる。

**問⑤** 西都原に設置してある公衆トイレ、洋式に変えることは出来ないか伺う。

**答** 屋外公衆トイレは洋式39%、和式61%と和式が多い状況である。観光地の西都原、今後の公衆トイレ改修にあたっては、全体的に洋式化を進めながら一部は和式を残す配慮にも取り組みたいと考える。

**問⑥** 庁舎多目的スペースの活用について、市民に開放してはいいかがか。

**答** 市民関係団体等の一般利用を想定した利用基準を定め、公共性のあるものは無償でできる事としており、市民の皆さまに広く活用していただける体制を整えているところである。

ベビーファースト運動、公共施設の今後の計画について

新風創生会 村上 修乗



動画はこちらから↓



の校舎、体育館等の施設や運動場の活用法を見出すべきと思う。教育長へ今後の計画を伺いたい。

**問①** 本市の子育て支援、「抜群に住みやすいまち・西都」に、このベビーファースト運動が新しい施政に繋がると考える。市長の考えを伺いたい。

**答** この運動は子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会を実現するための運動であり、企業や個人行政がみんなで子どもを育ていく優しい社会を目指して様々な活動に取り組んでいくものである。本市において人口減少問題への対応は喫緊の課題であるので、この運動に参画することは大変意義があるものと認識している。

**問②** ベビーファースト運動に関する本市の人口減少問題に対しての取組を伺いたい。

**答** 来年度から第二子以降の保育料無償化を実施し、子育て世代の経済的負担軽減に努めるほか事業者への支援を行い環境の充実を図る。

**問③** 新中学校の開校が令和8年で残り3年の期間となった。各中学校

**答** 再編の対象となる中学校のうち、三納中学校校舎は耐震性も低く老朽化も激しいことから今後解体工事を行う計画である。三財中学校校舎は一部を社会教育課に移管し文化財の保管場所として活用している。穂北中学校と都於郡中学校や各中学校の体育館や運動場は現在、利活用に向けた調査検討を行っている。準備が整えば地域住民の意見を伺いながら西都市公有財産利活用検討委員会において検討していく。

**問④** 本市として公共施設の跡地利用について、どの様な考え方、方針を持って進めていくのか、市長の考えを伺いたい。

**答** 公共施設の用途廃止が決定した場合には、まず他の公共用途での活用を検討する。そこで用途が決まらない場合には貸し付けや処分等を検討することとなる。今後多数の公共施設が更新の時期を迎えるので各施設の立地条件や建物の状況等を考慮しながら円滑な公有財産運用に努めてまいりたいと考えている。

地域コミュニティの原点と喫緊の諸課題に対する施策

結の会 吉岐 秀光



動画はこちらから↓



を講じる。

**問①** 民生委員・児童委員は、どのような方法で選出されるのか。

**答** 各地域独自の取り組みがあるが、主に公民館や集落単位で適任者を選出している地区が多い。

**問②** 障害者雇用の現状と課題について伺う。

**答** 現在、就業者は92人。昨年開設した基幹相談支援センターでの業務を通し、雇用促進を図る。

**問③** 高齢者等の健康寿命の延伸にもつながらる農業と福祉を連携した企画はないか。

**答** 現時点の企画や計画は特にな

**問④** 新年度より子ども政策の柱として「子ども家庭庁」が創設される。市役所内での組織改編等はないか。

**答** 来年度の組織改編は計画にないが、今後は「子ども家庭センター」の設置も含めた体制強化や事業の拡大等を図る。

**問⑤** コストアップに対応できない農業分野に対する市独自の支援策はあるのか。

**答** 特になが、国や県の事業等を活用し、必要に応じ効果的な支援策

**問⑥** 公立中学校の部活動の地域移行(休日)に向けた動きが始まるが、方向性やスケジュールを伺う。

**答** 今後の国・県の動向を注視し、迅速にならないよう本市の実情に合った地域移行を進めたい。

**問⑦** 昨年に自殺した小中高校生は全国512人で、統計開始以来、初の500人を超えた。この嘆かわしい事態について教育長の見解を伺う。

**答** 大変残念かつ極めて憂慮すべき状況。児童生徒には命の尊さの実感と多様性を育み、教職員には楽しく充実した学校生活を送れる環境づくりに配慮するよう指導していく。

**問⑧** 来年度、西都児湯医療センターは公立病院経営強化プランの策定を迎えるが、市としての携わり方はどうか。

**答** 同センターの第3期中期目標や医療圏域における医療施策との整合性を図るため随時、協議を実施する。

**問⑨** 西都が誇る自然を活かせる場所「杉安川仲島公園」の利活用について、転換・再整備も含めた新たな計画はないか。

**答** 新たな価値や直接・間接的な波及効果を見出す施設への転換をはじめ、市総合計画などに則り協議・検討を進めていきたい。

環境への配慮と適正な財源確保による事業の拡充を

葵の会 森 祐子



動画はこちらから↓



- 問①** 観光振興についての具体的な取り組みを伺う。
- 答** 観光誘客と消費につなげ外貨を稼ぐ仕組みを作り、地域経済活性化を目的に取り組む。
- 問②** 10月の宮崎県人会世界大会、国内外に本市をPRできる良い機会となる、本市の関わりは。
- 答** 「PRブースの設置」や「ふるさと巡りツアー」等協力予定。
- 問③** DMO(観光地域づくり法人)登録で観光庁の補助事業を広く使える、今後の計画は。
- 答** 令和7年度中の登録を目指す。
- 問④** 農業資材等の高騰による農業者への影響が深刻、令和5年度市独自の補助事業予定は。
- 答** 現段階では予定無し、状況に応じて必要な支援をしていく。
- 問⑤** 「バイオマス産業都市構想」具体的な取り組みの内容は。
- 答** 畜産、ふん尿をメタンガスに、木材チップ燃焼により発生した電気や余剰熱をハウスへ活用等、エネルギー地域循環の取り組み。
- 問⑥** 地域循環の観点で、ソーラーシェアリングについては。

- 答** 発電や集熱が再生エネルギー活用に有効、今後研究していく。
- 問⑦** 太陽光発電設置の公共施設と、防衛省補助の活用有無を伺う。
- 答** 本庁舎、市民体育館、妻中、妻北小、妻南小。補助活用無し。
- 問⑧** 公民館や図書館等、防衛省補助にて太陽光設置が可能、防災の観点から積極的導入を。防衛省補助はソフト事業でも幅広く使える、活用で市民生活に役立てて欲しい。
- 答** 補助の積極的な確保に努める。
- 問⑨** 自治体のPR、補助事業が受けやすくなる、地域事業者にもメリットがある「SDGs未来都市」将来的な取り組みは。
- 答** 前向きに取り組みたい。
- 問⑩** ペイオフ以降、基金を積極的に運用した自治体多数、本市では。
- 答** 情報収集に努め、安全性を第一に運用を行っていく。
- 問⑪** 行財政改革の具体的内容について、行政手続きのICT化とは。
- 答** 電子申請やLINE等の活用で来庁不要で手続きが可能になる。
- 問⑫** ふるさと納税や補助事業活用による自治体間格差を感じる。歳入確保に本気で取り組まないと将来は厳しい、市長の見解は。
- 答** 非常に重要な課題、補助事業やふるさと納税の確保に努め、優先順位をつけた事業選択を行い財政基盤の確立を図りたい。

3月定例会

各委員会審査報告

委員長報告全文はホームページでご覧ください。



総務委員会審査概要

◎付託議案件数 12件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決(うち1件は承認)

◎審査の過程で出た意見・要望等  
債権は市の財産であることから、その取扱いは公正・公平でなければならぬ。対象となる債権者に対して十分調査・精査を行って、最終決定をして頂きたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託議案件数 17件

◎議案審議結果

議案第1号、第22号、第27号については、賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案可決(議案第1号は承認)

議案第44号、第45号、第47号、第50号については、反対討論がなされ、採決の結果賛成多数をもって原案可決  
その他の議案について、全会一致をもって原案可決

◎審査の過程で出た意見・要望等  
中学校再編計画の推進を図ること、医療センターの医療体制の確立を図ること、粗大ごみ置き場へのフォークリフト配置等の意見要望を行った。

産業建設委員会審査概要

◎付託議案件数 11件

◎議案審議結果

全ての議案について、全会一致をもって原案可決。

◎審査の過程で出た意見・要望等  
想像以上の被害を受けた昨年の台風14号の復旧予算について、まだ手つかずのところもあり、令和6年までの完了を目指して工事を進めているとのことであった。一日も早い復旧工事を要望する。

【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	全会一致
第2号	西都児湯公平委員会委員の選任について	同意	全会一致
第3～18号	西都市農業委員会委員の任命について	同意	全会一致
第19号	西都市債権管理条例の制定について	原案可決	全会一致
第20号	西都市の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第21号	西都市非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第22号	西都市公民館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第23号	財政事情作成及び公表に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第24号	西都市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第25号	西都市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第26号	西都市営土地改良事業に係る分担金に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第27号	西都市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第28号	西都市保健センター設置条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第29号	西都市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第30号	西都市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第31号	西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第32号	西都市子ども・子育て会議条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第33号	西都市社会福祉事業基金条例の廃止について	原案可決	全会一致
第34号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第17号)について	原案可決	全会一致
第35号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第18号)について	原案可決	全会一致
第36号	令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第5号)について	原案可決	全会一致
第37号	令和4年度西都市営住宅事業特別会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第38号	令和4年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第39号	令和4年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第40号	令和4年度西都市水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第41号	令和4年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第42号	令和4年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第4号)について	原案可決	全会一致
第43号	令和4年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第3号)について	原案可決	全会一致
第44号	令和5年度西都市一般会計予算について	原案可決	賛成多数
第45号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第46号	令和5年度西都市営住宅事業特別会計予算について	原案可決	全会一致
第47号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第48号	令和5年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第49号	令和5年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第50号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	賛成多数
第51号	令和5年度西都児湯いじめ問題対策専門家委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第52号	令和5年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第53号	令和5年度西都児湯公平委員会特別会計予算について	原案可決	全会一致
第54号	令和5年度西都市水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第55号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第56号	令和5年度西都市公共下水道事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第57号	令和5年度西都市農業集落排水事業会計予算について	原案可決	賛成多数
第58号	財産の無償貸付について	原案可決	全会一致
第59号	情報公開・個人情報保護審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び西都児湯情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更について	原案可決	全会一致
第60号	辺地総合整備計画の変更について	原案可決	全会一致
第61号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
第62号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第19号)について	原案可決	全会一致
第63号	令和5年度西都市一般会計予算補正(第1号)について	原案可決	全会一致
第64号	令和4年度西都市一般会計予算補正(第20号)について	原案可決	全会一致

【議員提出議案】

番号	議案名・概要	審議結果	
第1号	地方独立行政法人西都児湯医療センターにおける救急医療体制の維持と運営体制の充実強化を求める決議について	原案否決	賛成少数
第2号	西都市議会会議規則の一部改正について	原案可決	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名(左から議席番号順)													審議結果		
		太田寛文	森祐子	杵崎秀光	浦田明子	村上修乘	米良弥	橋口登志郎	田爪淑子	荒川敏満	黒木吉彦	中武邦美	井上司	井上久昭		狩野保夫	岩切一夫
第44号	令和5年度西都市一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第45号	令和5年度西都市国民健康保険事業特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第47号	令和5年度西都市介護保険事業特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第50号	令和5年度西都市後期高齢者医療特別会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第54号	令和5年度西都市水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第55号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第56号	令和5年度西都市簡易水道事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
第57号	令和5年度西都市農業集落排水事業会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決
議員提出議案第1号	地方独立行政法人西都児湯医療センターにおける救急医療体制の維持と運営体制の充実強化を求める決議について		●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案否決

○：賛成 ●：反対  
 ◻：議長のため表決に参加しない

## 新田原基地対策調査特別委員会活動報告

令和4年度における新田原基地対策調査特別委員会の調査活動についてご報告いたします。

本特別委員会は、昨年4月の臨時会におきまして、「新田原基地の騒音対策や安全運航対策、その他、基地に関する事項について調査活動を行うこと」を目的に設置されたところであります。

令和4年8月8日に九州防衛局に、10月24日、25日に防衛省及び地元国会議員に対し、本市が戦闘機等の離発着コースとなっており、日々市内全域で騒音被害に悩まされている状況等をしつかり伝え、万全な対策を講じるよう要望したところであります。



九州防衛局への要望活動



防衛省への要望活動

次に、11月21日に新田原基地尾山司令を表敬し、同基地の視察を行

いました。

次に、令和5年1月17日・18日に九州防衛局・山口県岩国市・中国四国防衛局岩国防衛事務所に行き、「F-35 B配備に伴う諸問題について」配備前後の騒音等の変化、騒音エリアの変化などを調査しました。



岩国市行政調査



岩国防衛事務所

騒音について、データでみても体感的にも配備前後に大きな変化は見られないとのことでした。

次に、1月31日に、新たに新田原基地司令に就任された藤永国博氏に対し表敬訪問を行いました。

以上が、令和4年度における、新田原基地対策調査特別委員会の活動概要報告であります。

## 新病院建設調査特別委員会活動報告

【設置日時及び設置会議】  
令和4年5月18日 臨時会

【設置目的】  
西都児湯医療センター新病院建設の調査検討を行うこと

活動報告①

【日時・対象者・活動内容】

8月19日・地域医療対策室・当局の新病院に対する考え方を確認するため、これまでの経緯・経過や今後の予定等の説明を受ける。

【説明内容】

- ・令和4年4月に、地域医療対策室内に新病院対策係を新設。
- ・県の「地域医療構想」の見直しが令和5年度実施。
- ・同構想に基づき「公立病院経営強化プラン」「第8次医療計画」が策定。
- ・その中で病床数や病床機能が見直されると考えており、現在は様子見の状態。
- ・対策室は建設予定地の再検討及び選定、建設財源の検討を進めている。

・最も重要なのは医療センターの経営安定なので、安定に向け支援していきたい。

活動報告② 1月19日の委員会において、地域医療構想を担当する県福祉保健部医療政策課への表敬訪問及び意見交換の実施を決める。

1月27日 県福祉保健部医療政策課との意見交換

・「地域医療構想見直しに向けての件の取り組み状況」「公立病院経営強化プランについて」「第8次宮崎県医療計画について」「二次医療圏の設定や病床数について」などの意見交換を行った。



宮崎県福祉保健部表敬訪問

(特別委員会要望)課題は山積しているが、センターとの連携を図り、協力しながら経営安定に向けて取り組むことを要望した。

# 産業建設委員会年間付託案件活動報告

産業建設委員会が、閉会中も継続して調査活動付託案件  
 国道の総合的な整備促進、高速道及びアクセス道路早期整備並びに三市町村議会国道整備促進合同協議会への概要報告  
 昨年4月26日西米良村にて、三

市町村議会国道整備促進合同協議会委員長会開催、国道219号西都市・西米良村・熊本県湯前町と合同で現地調査を踏まえ、宮崎県や宮崎県議会に年間事業計画に対して提言活動を確認。  
 6月2日正副議長及び産業建設委員会委員で西都市土木事務所へ表敬訪問、連携して管内の道路整備等に連携して対応していく事を確認。

6月27日同協議会として議長及び産業建設委員会委員をもって、西都市岩下バイパス・西米良村二之渡工区及び越野尾工区の調査実施。



国道219号現地調査

8月18日議長及び産業建設委員会正副委員長にて、宮崎・熊本両県に  
 対し、一般国道219号の整備促進及び道路整備促進のため  
 の予算確保に  
 関する提言・  
 要望活動に  
 対し知事から  
 回答、「219号が

皆様の生活に大きく影響する極めて重要な道路と認識を持っている。南海トラフ地震、度重なる豪雨災害など予想される中、道路の重要性が益々高まっていると認識した上で、しっかりと対応したいと考える」

8月29日から30日に同協議会役員にて国土交通省九州地方整備局、国土交通省道路局、県選出国会議員に対し、一般国道219号整備促進・道路整備促進の予算確保に関する提言活動を行う。

地方にとって道路は地域の自立、経済の維持・発展を図る上で重要である、災害時に果たす道路の役割を再認識、住民の強い期待に貢献し今後も産業建設委員会委員は継続的に住民の安心安全のためにも、関係機関へ強く要望活動を実施していく必要性を強く感じたところである。



県知事要望



国土交通省要望

## 議会Q&A

Q. 市議会議員バッジとは何ですか？

A. 正式名：議員徽章(ぎいんきしょう)。「徽章」の文字は「徽」の文字が常用漢字ではないため、「記章」や「き章」と書かれることがあります。また、「議員章」と呼ばれることもあります。一般には「議員バッジ」と表記します。議員バッジは簡単に言えば、それを身につけている人が「議会議員」であることを示すものです。



「議会議員」と一言で言いましても、国会議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員と様々で、議員バッジも、全国共通のものもあれば、それぞれの議会ですら独自に作成されているものがあります。

Q. より多くの人が傍聴できるように、平日の夜間や休日に議会を開催できないのですか？

A. 会議時間は原則午前10時から午後5時までと定められています。また効率的な運営をするため本市の休日は休会とすると決められています。できるだけ多くの方が傍聴できるように夜間や休日に議会を開催する地方議会も出てきました。当議会でも試みたことがありましたが、開催にあたっては、議員は当然のこと、市役所の多くの職員や関係機関の協力が必要となります。当議会の本会議はインターネットでライブ配信及び録画配信も行っており、議会はだれでも傍聴できるようになりました。

## 編集後記

西都原古墳群の桜と菜の花も終わり、葉桜となり風光る新緑の季節となりました。

高取山公園のミツバツツジも満開、爽やかな季節となりました。長かったコロナ禍も医療警報が終了となり、たくさんのお見物客で大賑わいでした。

そして、この春、ご卒業・ご卒業された皆様へ、心より、お祝い申し上げます。

私たち、西都市議会も新年度がスタートしました。今年度も、市民の皆様のご生活向上にお役に立てるよう、「抜群に住みやすいまち西都」づくりを目指し努めてまいります。

### 議会報編集委員会

- 委員長 橋口 登志郎
- 副委員長 村上 修 乗
- 委員 森 祐 子
- 〃 壱 岐 秀 光
- 〃 浦 田 明 子
- 〃 荒 川 敏 満
- 〃 黒 木 吉 彦
- 〃 狩 野 保 夫